

133	款・項・目	5・1・1	目名称	労働諸費	目の決算額	72,127,035	133
	事務事業名称	雇用環境整備事業					
	事業コスト(千円)	7,600	【うち人件費 6,283      うち減価償却費 268      】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市内の事業所 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 雇用の安定と人材の確保がされているとともに、ワーク・ライフ・バランスへの取組が進んでいます。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	就職フェア参加者数		257	/	400	人	
	雇用対策協議会加盟企業数		103	/	107	社	
				/			
実施内容	<p>1 大府市働きやすい企業表彰の実施 (R1~)</p> <p>仕事と生活の調和のための職場環境の整備に取り組む事業所の表彰及び紹介をすることにより市内の他の事業所における両立支援に係る取組を進めました。(R4:(株)富士プレス、愛同工業(株)、豊通鋼管(株)、アルメック(株))</p> <p>2 大府市雇用対策協議会への補助</p> <p>(1) 労働力を確保するための求人対策事業</p> <p>ア 高校卒業予定者の求人に関する取組を実施しました。</p> <p>(7) 県内高校就職担当者との懇談会 1回(参加企業・高校 45社・37校)</p> <p>(4) 県内高校就職担当者による事業所見学会 3回(6月1日、3日、7日)</p> <p>参加企業・就職担当者 R2:中止 R3:12社・21人 R4:10社・11人</p> <p>(9) 学生の進路動向や求人等に係る県内高校就職担当者へのヒアリングを、オンラインで実施しました。(28校)</p> <p>(E) 刈谷工科高校内で1、2年生とその保護者向けに合同企業説明会を実施しました。</p> <p>参加企業・来場者 R4:16社・146人</p> <p>イ 新規学卒者及び中途求職者の求人に関する取組を実施しました。</p> <p>(7) 大府企業就職フェア(大府市役所、5月28日)</p> <p>(4) 刈谷・大府企業就職フェア(刈谷市産業振興センター、10月1日)</p> <p>(9) 地元企業就職ガイダンス(ウインクあいち、2月23日)</p> <p>参加企業・来場者 R2:162社・372人 R3:143社・308人 R4:158社・257人</p> <p>ウ その他の取組</p> <p>(7) 会員事業所の概要を掲載した大府市就職ガイド500部を大学、高校等へ配布しました。</p> <p>(4) 学校及び職業安定機関等へ求人に関する取組のPRを実施しました。</p> <p>(9) 男性の育児休業取得促進をテーマに、研修会を1回実施しました。</p> <p>(2) 労働力定着のための従業員定着対策事業</p> <p>優良従業員の表彰 対象者 R2:17人 R3:20人 R4:20人</p> <p>※新就職者激励会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。</p>						
	事業の評価	妥当性評価	就労環境を充実したものにするため、市が実施すべき事業です。				
	有効性評価	大府企業就職フェア等の合同企業説明会を3回開催し、地元で働きたい人と地元企業のマッチングを図りました。また、高校就職担当者と企業との懇談会、事業所見学会、就職動向調査等の実施により、地元企業の高卒採用を支援しました。					
	効率性評価	高校就職担当者と企業との懇談会では、多くの高校就職担当者と企業が一堂に会することで、短い時間で多くの交流機会を創出しました。また、就職動向調査では、オンラインを活用することで、効率的に情報収集を行うことができました。					
事業費	左の財源内訳						
	1,036,582	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	1,036,582		

主要事業No. 167

主要事業No. 167

134	款・項・目	5・1・1	目名称	労働諸費	目の決算額	72,127,035	134
	事務事業名称	雇用促進事業					
	事業コスト(千円)	10,421	【うち人件費 4,188      うち減価償却費 161      】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）						
	職を求める市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 就労機会の場が確保されています。						
評価指標	指標名		令和4年度実績値	/	令和4年度計画値	単位	
	大府市就業支援センターを通じた就職者数		182	/	370	人	
	就職支援セミナー開催数		3	/	3	回	
				/			
実施内容	1 大府市就業支援センター（ワークプラザおおぶ）						
	(1) 大府市就業支援センター						
		R2	R3	R4	月～金曜日午前9時～午後4時30分 (祝祭日を除く。)		
	新規求職者	541人	587人	497人			
	就職者数※	211人	245人	182人	※ワークプラザおおぶを通して就職した人数		
	延べ利用者数	6,086人	5,919人	4,539人			
	(2) 大府市就業支援センター事業運営協議会						
	大府市就業支援センターで職業相談、職業紹介等と市の生活支援サービスを一体的に実施できるように、愛知労働局、ハローワーク刈谷、企業や労働者の代表、市で構成された大府市就業支援センター事業運営協議会にて、近況の求人・求職動向等を考慮して次年度事業について協議を行いました。						
	開催数 R2:2回 R3:1回(書面開催) R4:1回						
	2 就職支援セミナー						
ハローワーク刈谷と連携した女性の再就職支援セミナー（マザーズセミナー）を開催しました。							
	実施回数・参加者数	R2	R3	R4	R4内容		
	マザーズセミナー	2回 7人	2回 8人	3回 9人	再就職時の仕事の探し方等		
3 ちた地域若者サポートステーションと連携した就労個別相談							
毎月第4水曜日 午後2時～午後4時 大府市ふれ愛サポートセンター「スピカ」内 ニート状態等にある若年者やその保護者からの就労に関する相談への対応を行いました。							
相談件数 R2:4件 R3:8件 R4:3件							
4 首都圏人材確保支援事業費補助金							
東京23区から本市に移住して中小企業に就職した人等を対象に、国及び県と連携して補助制度を運用しました。 交付件数 R2:0件 R3:0件 R4:0件							
事業の評価	妥当性評価	国の職業紹介や職業相談事業と本市の生活に関するサービスを一体的に実施することは、求職者への就職支援につながることから、ワークプラザおおぶの運営は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	出産、育児、介護等で退職し、再就職を希望する女性を対象として求職に関する講座を開催することで就職につなげることができるようセミナーの有効性の向上に努めました。					
	効率性評価	合同企業説明会開催時に職業適性検査、相談コーナーを設置することで求職者の就職活動の利便性の向上を図ることができました。					
事業費	左の財源内訳						
	6,066,942	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	0	6,066,942		